

# 業務部速報



No. 103

発行 21. 12. 23

JR東労組 業務部

## 「2022年3月ダイヤ改正について」の提案を受ける！

本日、新幹線統括本部より「2022年3月ダイヤ改正について」の提案を受けました。詳細は以下の通りです。

### ● 主な事項

- (1) 上越新幹線 E7系追加投入
- (2) **新幹線輸送力の柔軟化** ← **会社がダイヤ改正の目玉とする内容**  
一部の定期列車を削減または臨時列車化することで定期列車の比率を下げる。
- (3) 乗務員行路の一部変更

### ● 担務別行路数及び乗務キロ

#### 【車掌】

箇所名	行路数		全体		乗務キロ
	日勤	泊	乗務枠		
東京新幹線運輸区	現行	4	11	26	19,468.1
	改正	3	11	25	18,176.4
	増減	△1	0	△1	△1,291.7
仙台新幹線運輸区	現行	6	23	52	41,996.1
	改正	5	19	43	32,201.1
	増減	△1	△4	△9	△9,795.0
盛岡新幹線運輸区	現行	5	14	33	29,393.1
	改正	5	11	27	23,796.3
	増減	0	△3	△6	△5,596.8
新潟新幹線運輸区	現行	5	15	35	18,611.2
	改正	5	12	29	15,862.0
	増減	0	△3	△6	△2,749.2

#### 【運転士】

箇所名	行路数		全体		乗務キロ
	日勤	泊	乗務枠		
東京新幹線運輸区	現行	3	19	41	21,677.9
	改正	3	18	39	19,071.5
	増減	0	△1	△2	△2,606.4
仙台新幹線運輸区	現行	5	22	49	30,146.9
	改正	5	20	45	26,668.0
	増減	0	△2	△4	△3,478.9
盛岡新幹線運輸区	現行	5	18	41	28,961.8
	改正	3	17	37	25,228.9
	増減	△2	△1	△4	△3,732.9
新潟新幹線運輸区	現行	5	12	29	14,275.8
	改正	3	12	27	13,845.4
	増減	△2	0	△2	△430.4

定期列車を臨時列車化することで車掌・運転士ともにすべての職場で乗務枠、乗務キロともに大きく減少

### ● 提案箇所体制について 乗務枠、乗務キロとも大きく減少しているのに出面数は増加の箇所も！？

箇所名	変形等	現行			改正			計	
		交代	乗務員		交代	乗務員			
			日勤	泊		日勤	泊		
東京新幹線運輸区	管理	6	2		8	6	2	8	
	一般	12		33	30	75	12	33	29
仙台新幹線運輸区	管理	5	2		7	5	2	7	
	一般	8		25	45	78	8	31	39
盛岡新幹線運輸区	管理	4	2		6	4	2	6	
	一般	8		20	32	60	8	24	28
新潟新幹線運輸区	管理	4	2		6	4	2	6	
	一般	9		23	27	59	9	28	24

#### 【今後の業務量の示し方】

- ・これまで標準数で業務量に必要な要員を示してきたが、今後は出面数で示すこととなる。
- ・出面数は年間を通した平均的な業務量の基準として「変形等」「交代」「乗務員」の1日当たりの出面数を「管理・一般」に分けて示す。
- ・乗務員の出面数には波動を含む。

危惧した通り、出面数の管理だけでは、休日・年休が確実に取得できる要員体制なのが見えづらくなる！  
職場に必要な要員が曖昧であり、目安は示すべきだ！

#### 【主な議論】

- ・臨時列車を運行はお客様の利用状況を見て適切な時期に判断する。
- ・新幹所と盛幹所における自動車便乗はコストダウンのため在来線便乗とする。(新幹所:大形駅 盛幹所:IGR 青山駅)
- ・折り返し時分の算定は本社統一の考えではなく、両数ごとに必要な徒歩時間を算定する。

一人ひとりが問題意識を持ち、安全でゆとりある環境をつくり出そう！